

すぐに役立つ介護教室（第3回介護教室）

北柏包括支援センターの渋川講師を迎えて、ささえあい happy tap グループによる頭書の教室が9月26日、松葉近隣センターで開催されました。

介護ベッドや補助具等を使用し、モデル（ロバストケア社の担当者）による具体的な動作入り説明で分かり易かった（詳細は、添付の動画を参照）。

介護者ひとりで被介護者をベッドに寝かせたり、方向を変えたり、衣服の交換等は大変で、可能であれば被介護者の補助的な動作が比較的スムーズに実施できる との説明であった。

その他、参加者のベッド利用者もかなり多く、ベッドからの立ち上がりやすわり方等の注意も。介護申請の方法と認定、介護認定受領後の家の施設改修、ベッドのレンタル等の質疑応答もあった。

参加者は約20数名で、かかるテーマの関心度の高さがうかがわれた。

“ころばぬさきの杖” 心身健全（身体、認知症）な中に、そろそろ準備が必要だと感じた。

（ICT 担当、武藤レポート）

